

神戸っ子すこやかプラン 2024

(計画期間:令和2年度～令和6年度)

基本方針

人口減少社会の進展、共働き世帯の増加、児童虐待や子どもの貧困など、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が大きく変化しています。このような中、保護者の子育てに対する負担や不安、孤立感を解消し、子どもの特性、地域の実情を踏まえながら、妊娠・出産期から学齢期において切れ目ない支援を提供することで、子どものより良い育ちを実現します。

また、社会全体が、子ども・子育て支援に対する関心や理解を深め、子どもの最善の利益が優先されるよう協働しながら支援できる社会環境づくりを進めていきます。



(包含・連携)

神戸っ子すこやかプラン 2024

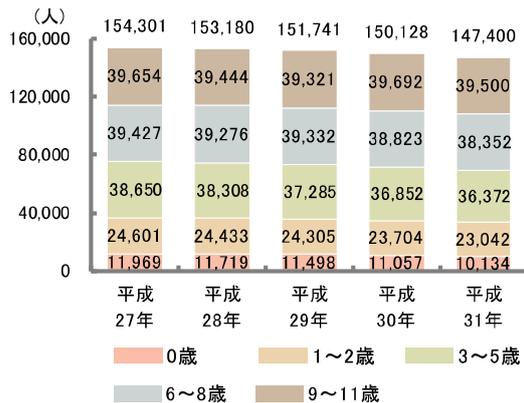
子ども・子育て支援事業計画 / 次世代育成支援対策推進行動計画 / 新・放課後子ども総合プラン / 社会的養育推進計画 / 母子保健 / 母子家庭及び父子家庭並びに寡婦自立促進 / 子どもの貧困対策 / 青少年健全育成

神戸市の現状

「神戸っ子すこやかプラン 2024」の策定にあたり、子ども・子育てを取り巻く社会環境の変化や課題を示しています。

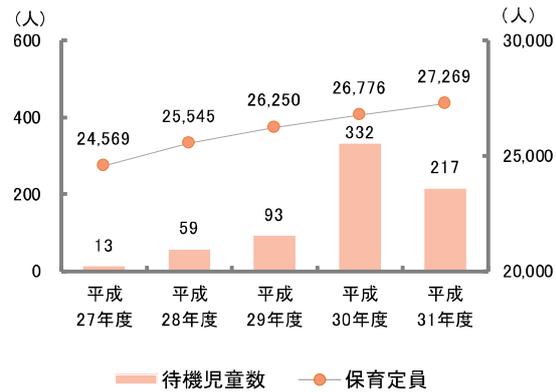
1 人口減少社会が進展する一方、女性の就業率の上昇等により保育ニーズが増加し、「仕事と子育ての両立」ができる環境整備が必要

年齢別子どもの人口の推移



年齢別にみると、0歳が平成27年に対し減少幅が大きく、少子化が進んでいる

待機児童と保育施設定員数の推移



保育所等の整備を進めているものの、保育ニーズの増加により、待機児童が依然として発生している

出典：住民基本台帳（各年3月31日現在）

出典：神戸市資料（各年度4月1日現在）

放課後児童クラブ 【放課後児童健全育成事業】	量の見込み	学年	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
		小学1年生	5,328	5,434	5,543	5,654	5,767
		小学2年生	4,442	4,509	4,577	4,646	4,716
		小学3年生	3,505	3,551	3,597	3,644	3,692
		小学4年生	1,989	2,037	2,086	2,137	2,189
		小学5年生	775	784	793	802	811
		小学6年生	576	578	581	583	585
		合計	16,615	16,893	17,177	17,466	17,760
確保方策		16,615	16,893	17,177	17,466	17,760	

考え方

- 放課後児童クラブの年度ごとの量の見込み及び目標整備量、実施場所の確保策
 学童保育を必要とするすべての児童を受け入れるため、教育委員会と連携し、各小学校の状況を踏まえた上で学校内での実施場所の確保を行い、学校内で確保できない場合は地域の会館や民間物件の活用、民設助成による支援を行い、量の拡充を進めます。
 【学童保育利用人数】 平成 31 年度実績 15,355 人 ⇒ 令和 6 年度目標 17,760 人
- 神戸っ子のびのびひろばの充実（小学校の余裕教室等の活用方策含む）
 小学校施設を活用した放課後の居場所づくりとして、「神戸っ子のびのびひろば」を学校教育に支障が生じない限り学校内の施設を積極的に活用し、地域の方々の協力を得て、継続して実施する。また、人材の確保や研修の充実等による指導員のスキルアップに取り組みます。
- 放課後児童クラブと神戸っ子のびのびひろばの連携への対応方策
 学童保育児童を含むすべての児童の放課後等の居場所づくりを進めるため、学童保育と神戸っ子のびのびひろばの連携を進めます。
 学校内の施設を活用し、同一の小学校内で学童保育と神戸っ子のびのびひろばを実施する場合、両事業の一体型として学童保育児童を含むすべての児童が神戸っ子のびのびひろばのプログラムに参加できるよう取組みを進めます。【事業量】 平成 31 年度実績 65 校 ⇒ 令和 6 年度目標 80 校
- 特別な配慮を必要とする児童への対応方策
 障がいのある児童や、虐待・いじめを受けた児童、日本語能力が十分でない児童等、配慮を必要とする児童が安心して過ごすことができるよう、学童保育と、家庭、学校、関係機関等の連携強化を図ります。
- 学童保育の質の確保（地域の実情に応じた学童保育の開所時間の延長等）
 長期休業中等の朝8時開設、昼食提供など、保護者ニーズを踏まえてサービスを拡充するとともに、放課後児童支援員の体制強化及び資質の向上や、処遇改善も含めた人材確保策をあわせて行い、児童の安全・安心な居場所が確保できるよう、学童保育の質の向上に取り組みます。
- 学童保育等における児童の自主性、社会性等の向上を図る取り組み
 学童保育等で児童が過ごす中で、自主性、社会性がはぐくまれるよう、一人ひとりの発達過程に応じた支援を行います。
- 学童保育等の果たす役割についての利用者、周辺住民への周知の推進
 保護者との信頼関係を築き、学校、関係機関、地域等と連携して育成支援できるよう、各学童保育施設における取り組み等について、利用者や地域住民への周知を推進します。
- こども家庭局と教育委員会との連携
 新・放課後子ども総合プランの推進にあたっては、こども家庭局と教育委員会が定期的に会議を行う等、情報を共有し、共に取組むとともに、運営にあたっては児童の安全安心な居場所となるために個人情報保護に配慮しながら連携していきます。
 学童保育、神戸っ子のびのびひろば、両事業の実施場所として、学校教育に支障が生じない限り学校内の施設を積極的に活用します。